

平成23年度 第4回京都府入札制度等評価検討委員会  
次 第

日時：平成24年3月7日(水)

(14:00 ~ 16:00)

場所：京都平安ホテル「白河」

1 開 会

2 あいさつ

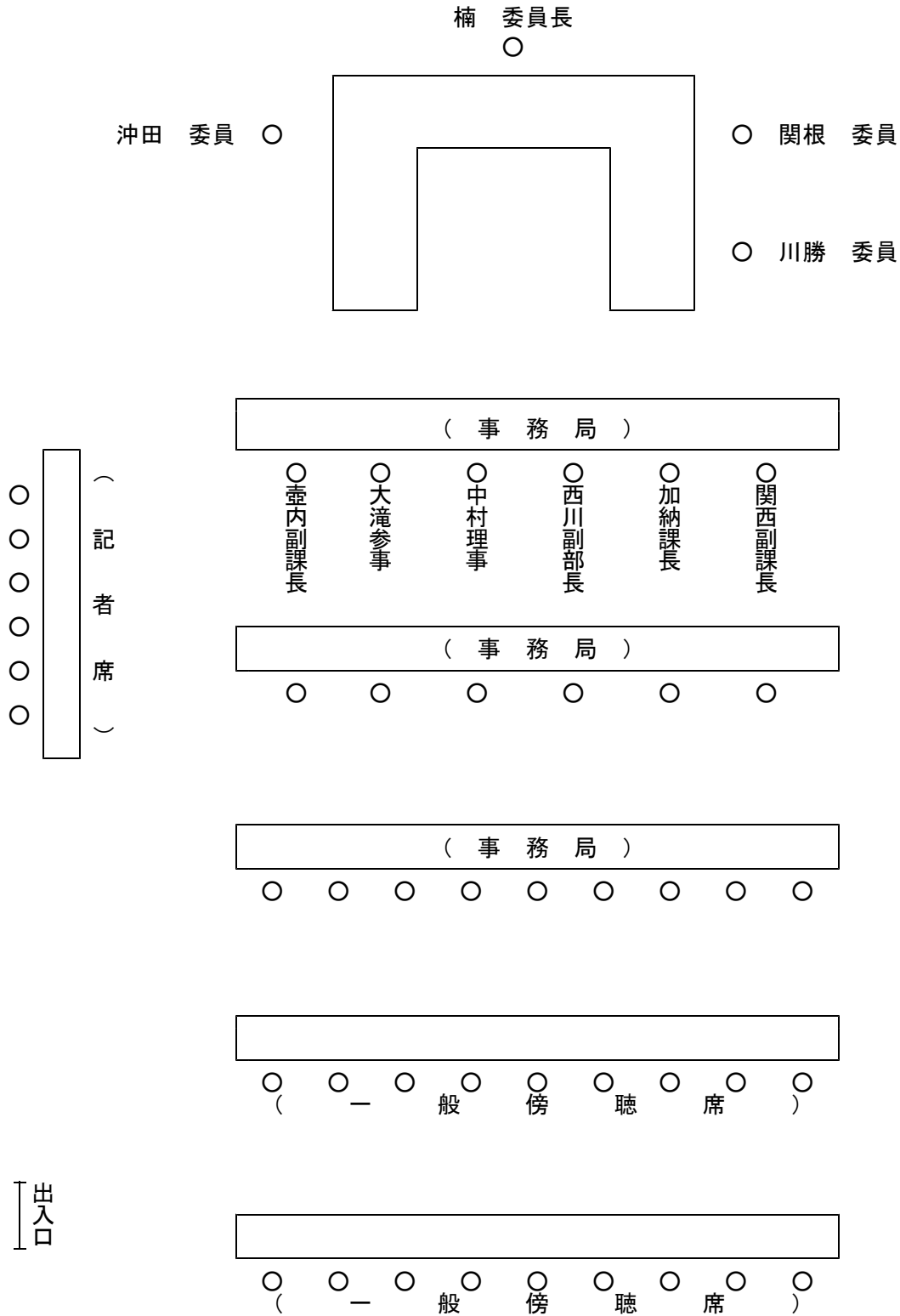
3 議 事

- (1) 入札制度改善の実施状況について（報告） . . . . . 資料1
- (2) 入札制度等の改善方策について . . . . . 資料2
- (3) 今後の入札契約制度のあり方について . . . . . 資料3
- (4) その他

4 閉 会

# 京都府入札制度等評価検討委員会 座席図

平成24年3月7日  
場所：京都平安ホテル  
2階 白河



「京都府入札制度等評価検討委員会」

委 員 名 簿

平成24年3月7日現在

役 職	委 員 名	現 職	摘 要
委員長	くすのき しげき 楠 茂樹	上智大学法学部准教授	
委 員	あおき なえこ 青木 苗子	弁護士	
	おきた やすひこ 沖田 康彦	京都府商工会連合会会長	
	かわかつ たけし 川勝 健志	京都府立大学公共政策学部准教授	
	せきね えいじ 関根 英爾	ジャーナリスト（元京都新聞論説委員）	

（敬称略、委員は五十音順）

## 建設工事における入札制度改善の実施状況について

## ■平成23年12月15日以降、制度改善を実施した事項

- (1) 最低制限価格及び低入札調査基準価格の見直し
  - ・ダンピング対策として、国基準（公契連モデル式）の見直しに対応し引き上げ
- (2) 最低制限価格設定の工夫
  - ・現場に精通した企業が適正価格で入札できるよう、現場難易度による補正係数を導入
- (3) 総合評価競争入札方式の拡充
  - ① 評価項目の細分化等
    - ・企業の技術的能力をよりきめ細かく評価するため、評価項目細分化等の見直し（技術者の能力、表彰、雇用などの評価項目）
  - ② 地域貢献優先型入札の試行
    - ・価格競争を原則としつつ、同価になった場合、地域貢献企業が優先される入札方式の試行
- (4) 地域性重視の入札方法の試行
  - ・住民生活に身近な工事について、受注企業がきめ細かく迅速に対応できる適正な地域要件（土木事務所管内）の設定

## ■制度内容や運用方法を周知した上で実施する事項

- (1) 元請・下請関係の適正化
  - ・元請下請関係の適正化及び労働環境確保のため、適正化指針の運用、相談窓口設置

## ■委員会で継続審議する事項

- (1) 予定価格の事後公表の試行
  - ・内部情報漏洩防止対策の強化、不正な聞き出し等に対するペナルティ強化など、厳格なコンプライアンス体制の構築が前提条件 → 総合評価競争入札方式の一部で試行
- (2) 最低制限価格の射程の拡大
  - ・低入札価格調査制度と最低制限価格制度の合理的な運用

## 建設工事の入札・契約事務に係るコンプライアンス対策について

### ■ 未然防止のための取組

#### (1) 発注担当職員と事業者等との接触制限等の検討について

##### <検討事項>

- ◇「京都府発注事務に関する職員倫理規程」の規律事項等を明確化した指針(ルール)の策定を検討
  - 指針に盛り込む事項例
    - ・業務上の必要な場合を除き事業者等との接触を制限
    - ・事業者等との業務上の打合せ等は決められた場所以外は禁止
    - ・事業者等との面談は原則複数職員で対応 など

#### (2) 入札情報等（工事設計額、予定価格等）の厳格管理について

##### <検討事項>

- ◇電子データへのアクセス制限及び決裁ルートの限定化

#### (3) 入札情報の問い合わせ等への対応について

##### <検討事項>

- ◇「入札情報に関する問い合わせ等に係る取扱要綱」の策定を検討
  - 要綱に盛り込む事項例
    - ・入札情報の問合せ等は記録し報告
    - ・不正な行為は指名停止等の措置 など

### ■ 組織的な管理運営と高いコンプライアンス意識の醸成

#### (1) 各発注所属におけるコンプライアンス対策について

##### <検討事項>

- ◇コンプライアンス管理指導チームを設置し、未然防止の取組を指導
- ◇入札関係情報の管理状況の点検と指導（データ管理、ロッカー保管等）

#### (2) 高いコンプライアンス意識を持った組織づくりについて

##### <検討事項>

- ◇管理指導チームによる全職員への制度等の周知と所属毎に主体的な取組を実施
- ◇階層別、入札契約担当者向けの研修実施
- ◇コンプライアンス相談員、内部通報制度の活用

#### (3) 外部有識者によるPDCAの検討について

##### <検討事項>

- ◇他自治体等のコンプライアンス違反の事例研究・分析による改善案の検討
- ◇「入札制度等評価検討委員会」、「入札監視委員会」において検証・改善提言

### ■ 不正事案に対する厳罰化(ペナルティ強化)

#### 不正行為に対するペナルティ強化等について

##### <検討事項>

- ◇指名停止期間の大幅な延長（最大36箇月）
  - ・贈賄、談合等に対するペナルティ
  - ・非公表情報を不正に入手しようとする行為に対するペナルティ
- ◇職員の懲戒事項の明確化（官製談合防止法の禁止事項等の周知徹底）

## 今後の入札契約制度のあり方について

### ■ 議論の視点・ポイント

「安心・安全の確保」、「公正な競争」、「地域経済への配慮」のバランス

### ■ 基本的な考え方

#### 【盛り込むべき事項】

##### <具体例>

- ◇入札及び契約の過程での透明性の確保
- ◇談合その他の不正行為の排除
- ◇健全な競争、品質及び価格の適正を確保
- ◇地域の安心・安全
- ◇地域における雇用、経済効果
- ◇暴力団排除の徹底及び不良不適格業者の排除

#### 《参考》

##### 「入札契約適正化法」

(公共工事の入札及び契約の適正化の基本となるべき事項)

第三条 公共工事の入札及び契約については、次に掲げるところにより、その適正化が図られなければならない。

- 一 入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性が確保されること。
- 二 入札に参加しようとし、又は契約の相手方になろうとする者の間の公正な競争が促進されること。
- 三 入札及び契約からの談合その他の不正行為の排除が徹底されること。
- 四 契約された公共工事の適正な施工が確保されること。

##### 「明日の京都(中期計画)」

##### 新たな入札制度の導入

公正な競争、工事の品質確保と地域経済への貢献、さらには下請けも含めた労働環境維持を考慮した新たな入札制度を導入します。

### ■ 府の契約の相手方に求めるもの

#### 【盛り込むべき事項】

##### <具体例>

- ◇誠実な履行
  - ・品質及び適正な価格を確保、誠実に履行
- ◇関係法令の遵守等
  - ・関係法令の遵守、安全衛生及び労働福祉の向上に努力
- ◇適正な下請負契約の締結
  - ・府内企業から下請負人を選定
  - ・下請負人や労働者へのしわ寄せ防止
  - ・下請負人への指導

## ■ 府が取り組むべき施策など

### 【盛り込むべき施策】

#### ＜具体例＞

#### ◇健全な競争を確保する取組

(ア) 透明性、公平性、競争性を確保するための取組

##### ＜現状の取組＞

- ・ 一般競争入札を基本とし、予定価格 1, 0 0 0 万円未満は指名競争入札を執行
- ・ 一般競争入札では、特殊な場合を除き、入札参加者は概ね 3 0 者以上で設定
- ・ 指名競争入札では、概ね 2 0 者程度を指名し、指名理由を公表

(イ) コンプライアンス対策の取組

※資料 2 を参照

(ウ) ダンピング対策としての取組

##### ＜現状の取組＞

- ・ 最低制限価格の算定基準を見直し
- ・ 積算内訳書チェックの厳格化

##### ＜検討事項＞

- ・ 予定価格の事後公表を一部試行
- ・ 低入札価格調査制度の検証と見直し（最低制限価格制度の射程拡大）

#### ◇地域経済の発展を促進する取組

##### ＜現状の取組＞

- ・ 総合評価競争入札の評価項目の充実と評価点の細分化
- ・ 地域貢献優先型総合評価競争入札の試行

##### ＜検討事項＞

- ・ 府内企業への発注を原則化

#### ◇下請負人へのしわ寄せ防止及び労働者の労働環境を確保する取組

##### ＜現状の取組＞

- ・ 労働関係法令の遵守を契約（下請契約を含む）に明記

##### ＜検討事項＞

- ・ 元請下請関係適正化指針の遵守を契約で義務化
- ・ 発注所属毎に契約遵守窓口を開設
- ・ 下請重層化への対応

## ■ 評価・検証する仕組み

### 【盛り込むべき事項】

#### ＜具体例＞

◇ P D C A サイクルにより検証・改善

◇ 社会経済状況に応じて柔軟かつ迅速に見直し

## 環境配慮企業等からの優先調達制度について

京都府の物品調達では、入札参加資格を有する府内中小事業者のうち一定の者を対象として政策目的の優先調達（府発注のオフィス用品等の買入れ、印刷物の製作での受注機会の増加）を実施

### 1 環境配慮企業からの物品等の調達 ～グリーン入札～（平成17年度から実施）

#### (1) 対象企業

事業活動で環境配慮し、次の環境認証の取得等をしている事業者

- ・ I S O 1 4 0 0 1
- ・ K E S
- ・ エコアクション21
- ・ エコ京都21

#### (2) 対象企業のメリット

環境配慮企業による入札又は見積合わせを実施

入札課による調達（本庁各課の調達及び地域機関からの依頼による入札）の一部

### 2 地域貢献企業からの物品等の調達（平成24年度から実施予定）

#### (1) 対象企業

事業活動で地域貢献に積極的に取り組み、次の認証等を得ている事業者

- ・ 京都府障害者雇用推進企業（京都はあとふる企業） <府認証>
- ・ 「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業 <府認証>
- ・ 消防団協力事業所 <市町村認定>（消防団活動で不利な処遇を受けない内部規則があり、所属団員の勤務時間中の消防団活動実績があるもの）

#### (2) 対象企業のメリット

地域貢献企業による見積合わせを実施（いずれも少額随意契約）

入札課による調達（本庁各課の調達）の一部

広域振興局総務室による調達 の一部